年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科 保健体育　　科目 保健2年

教　科： 保健体育　　科　目： 保健2年　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書籍 ）

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】課題の解決を目指して思考し、多面的にとらえ適切な意思決定を判断し、自ら実践するため意欲的に考えたり発表することができる。

【学びに向かう力、人間性等】心身の健康や安全・命の大切さに関心を持ち学び、他者や社会に目を向けた考えも持つことができる。

科目 保健2年 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな健康問題・課題の知識を身につけ、問題解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	課題の解決を目指して思考し、多面的にとらえ適切な意思決定を判断し、自ら実践するため意欲的に考えたり発表することができる。	心身の健康や安全・命の大切さに関心を持ち学び、意識して実践する。さらにどのように他者や社会にかかわり、より良い人生を送ることができるか積極的に学び活用する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期の心と身体の変化・男女の性意識の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 異性を尊重し、性意識の男女差を理解し、適切な行動選択ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が選択する性行動は、現在・将来に大きく影響することを認識し、信頼できる情報源から判断する。	・指導事項 １ライフステージと健康 ２思春期と健康 ３性意識と性行動の選択 ・教材 教科書・プリント ・一人１台端末の活用　等 １ライフステージごとの、健康課題を調べる。 ２思春期を題材とした映画・ドラマ・音楽から思春期の特徴を調べる。 ３性に関する保健・医療機関等相談先を調べる	【知識・技能】 思春期の心と身体の変化・男女の性意識の違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 異性を尊重し、性意識の男女差を理解し、適切な行動選択ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・プリントへの取り組み・発言等で評価を行う	○	○	○	6
	B 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 妊娠・出産の仕組みや避妊法、母体の健康について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠・出産の家庭における健康課題に対する適切な行動選択ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活を健康的におくるために必要な考え方や行動を意識つける。	・指導事項 １妊娠・出産と健康 ２避妊法と人工妊娠中絶 ３結婚生活と健康 ４中高年と健康 ・教材 教科書・プリント ・一人１台端末の活用　等 １地域の母子保健サービスを調査する。 ２人工妊娠中絶の問題性を調べる ３児童虐待について調べる。	【知識・技能】 妊娠・出産の仕組みや避妊法、母体の健康について理解することができる。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産の家庭における健康課題に対する適切な行動選択ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・プリントへの取り組み・発言等で評価を行う	○	○	○	7
	定期考査		年間3回1回目　期末考査100点で評価する	○	○		1
2学期	C現代社会と健康 【知識及び技能】 精神疾患の要因と主な症状を理解し、現代社会における精神保健の課題を説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患を予防する方法を知り、早期発見・早期治療のために必要なことについて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の適切な治療や回復のためにはそのような社会環境は必要か説明する。	・指導事項 １精神疾患の特徴 ２精神疾患の予防 ３精神疾患からの回復 ・教材 教科書・プリント ・一人１台端末の活用　等 １様々な精神疾患について調べる ２精神疾患の早期受診を促すメッセージを考えよう。	【知識・技能】 精神疾患の要因と主な症状を理解し、現代社会における精神保健の課題をあげることができる。 【思考・判断・表現】 精神疾患を予防する方法を知り、早期発見・早期治療のために必要なことについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・プリントへの取り組み・発言等で評価を行う	○	○	○	7
				○	○		1
	D 健康を支える環境つくり 【知識及び技能】 保健・医療サービス、医薬品の制度を理解し、活用法を説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える保健活動、社会的な対策について例をあげて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会全体の健康を高めるために、制度や保健活動の社会環境の在り方を学ぶ。	・指導事項 １保健サービスとその活用 ２医療サービスとその活用 ３医薬品の制度とその活用 ４様々な保健活動や社会の対策 ５健康に関する環境つくりと社会参加 ・教材 教科書・プリント ・一人１台端末の活用　等 １地域の保健サービスを調査する。 ２お薬手帳について調べよう。 ３サリドマイド薬害について調べる。	【知識・技能】 保健・医療サービス、医薬品の制度を理解し、活用法を説明することができる。 【思考・判断・表現】 健康を支える保健活動、社会的な対策について例をあげて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・プリントへの取り組み・発言等で評価を行う	○	○	○	7
	定期考査		年間3回2回目 期末考査100点で評価する	○	○		1

3学期	E　安全な社会生活 【知識及び技能】 事故の要因を知り、安全対策を説明する。応急手当の手順や方法について知り、実際に応急手当てができるよう備える。 【思考力、判断力、表現力等】 　被害を最小限にするために、応急手当てに関する正しい知識・判断力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当の意義を理解し、的確な行動実践ができるように準備を行う。	・指導事項 １事故の現状と発生要因 ２安全な社会の形成 ３交通における安全 ４応急手当の意義とその基本 ５日常的な応急手当 ６心肺蘇生法 ・教材 教科書・プリント ・一人１台端末の活用　等 １地域の母子保健サービスを調査する。 ２人工妊娠中絶の問題性を調べる ３児童虐待について調べる。	【知識・技能】 事故の要因を知り、安全対策を説明する。応急手当の手順や方法について知り、実際に応急手当てができる。 【思考・判断・表現】 被害を最小限にするために、応急手当てに関する正しい知識・判断力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・プリントへの取り組み・応急手当の実技・発言等で評価を行う	○	○	○	8
	定期考査		年間3回3回目　年度末考査100点で評価する	○	○		1